

さん さん 燦 燦

大分三愛メディカルセンター 広報誌

No. 18

2011・06・15

発行元：図書広報委員会

太陽の光が明るくきらきらと輝くさま。
大分三愛メディカルセンターが地域の中で燦燦と輝くことを目指して名づけました。

- 病 1. 患者さまが安心して生命を委ねられる病院。
院 1. 専門性の高い医療、患者さま中心の医療を実践する病院。
理 1. 他の医療機関・福祉施設と共に良い医療を支える病院。
念 1. 職員が幸せでやりがいのある病院。



INDEX

入社式・オリエンテーション …… 1p	外来担当医表・施設認定等 …… 4p
東日本大震災 …… 1p	看護師インタビュー・新人研修 …… 5p
看護の日 …… 2p	連携医療機関紹介 …… 5p
春の健康祭り …… 2p	わさだフォーラムお知らせ …… 6p
ふれあい看護体験 …… 2p	フィルムレス …… 6p
NST活動 …… 3p	看護師募集 …… 6p

平成23年度 社会医療法人三愛会入社式・ 新入職員オリエンテーション



入社式が4月1日行なわれ、新入職員23名が入職しました。(看護師6名/看護補助者2名/薬剤師3名/作業療法士2名/理学療法士2名/言語聴覚士2名/放射線技師1名/事務部総務課1名/事務部経理課1名/ケアセンター3名)

あわせて、新入職員オリエンテーションが行なわれました。各部署の概要説明や部署見学をはじめとして、医療安全・感染対策・接遇・看護理論・採血などの実務シミュレーションなどを、4日間に渡って学びました。採血実技では、新人同士や先輩の腕をかりて、手を震わせながらも皆上手に実施できたようです。また、全員でコミュニ

ケーションゲームを行い、コミュニケーションの難しさやその障害となっているものが何かを学び、再確認することができました。

入社初日は皆緊張した様子でしたが、徐々に打ち解けて親睦を深めることができました。新入職員同士の親睦もこのオリエンテーションの目的であり、日々の業務での悩みや失敗を共有し、助けあっていながら皆成長して欲しいと願っています。

現在は、各配属先で日々実務を学びながら、業務にあたっています。腕につけている緑のクローバーマークのワッペンが、新入職員の日印です。どうぞよろしくお願い致します。

東日本大震災における当院の支援活動について

2011年3月11日に発生した東日本大震災により、被害を受けられたみなさまに心からお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈りいたします。

当院からは、医師・看護師・薬剤師・事務員が支援活動に出動いたしました。

◆大分DMAT(Disaster Medical Assistance Team:

災害現場に派遣される医療チーム)/大分県より要請

3月12日～15日 宮城県仙台市…医師1名・看護師2名・事務員1名

◆災害派遣ナース/大分県看護協会より要請

3月23日～28日 宮城県…看護師3名

◆日本薬剤師会災害派遣ボランティアとして参加

5月12日～15日 宮城県気仙沼市…薬剤師1名

5月20日～22日 宮城県石巻市…薬剤師1名

また、患者様や職員から寄付を募り、社会医療法人三愛会全体で総額50万円の義援金が集まりました。この義援金は、大分郡市医師会を通じて被災地へ寄付されます。今後もできることを支援し続けるとともに、自院の災害対応マニュアルの見直し等も行う予定です。



第5回 わさだフォーラム



当院では、わさだ地区の医師およびコ・メディカルの方々に対してお役に立つべく医学・医療の身近な問題を勉強する場としてわさだフォーラムを開催しており、今年度は下記の通り開催することになりました。多くの方々のご参加を、お待ちしております。

日時 平成23年6月18日(土曜日) **時間** 13:15~14:30 (質疑応答含む)

場所 大分三愛メディカルセンター 2階大会議室

講師 松井 督治 先生 株式会社大分放送 報道局 局次長 兼 報道部長
(OBSラジオタワなしパーソナリティ、OBSイブニングニュースキャスター)

演題名 『心の通うコミュニケーション~患者から見た病院の対応』

お問合せ
大分三愛メディカルセンター 総務課まで **☎097-542-7487**

フィルムレス始めました!

平成23年4月1日より、院内に関してフィルムレス運用を開始しました。

フィルムレスとは、レントゲンやCT、MRI等の検査画像をフィルムに印刷出力を行っていたものを、専用の高精細モニタを用いて検査画像を参照することです。

フィルムレスにすることにより、フィルムの検索、搬送時間をなくし、待ち時間短縮を可能とします、また、画像の条件をパソコン上で操作でき、診断効率向上にも寄与することと思われま。

連携医療機関様からの検査依頼や紹介等で画像が必要な場合については、フィルムの出力も可能です。(CD-ROMでのご提供については、CT、MRIのみ可能となっております。)

連携医療機関からのお問合せ
(患者様の紹介・検査予約など)は地域医療連携室まで **☎097-542-7407**

看護師募集

看護学校・看護大学卒業見込みの方、看護師・准看護師免許を既にお持ちの方を募集しています。

勤務時間の短縮制度等の導入により、子育てを行なっている方も歓迎しています。勤務時間等もご相談に応じておりますので、気軽にお問い合わせ下さい。保育料補助制度(正規職員のみ)も導入しています。

働きながら看護師の資格を取りたい方も、合わせて募集しています。奨学金制度の導入もあります。(当院に将来看護職員として勤務しようとする方で、看護専門学校または看護一貫教育学校に在学する方)

中途採用者全員に、各部門長が行なう中途採用者オリエンテーションを別途行なっています。

- 募集人員 10名程度
 - 応募資格
 - 1.看護学校・看護大学卒業見込みの方
 - 2.看護師免許を有する方
 - 給与 201,000円~320,000円
大分三愛メディカルセンター給料規定に基づく(資格手当込み)
 - 諸手当 準夜手当・深夜手当・当直手当・時間外手当
家族手当・通勤手当・育児手当(保育園料金の半額補助)
 - 賞与 夏期:7月支給 冬期:12月支給
 - 宿舍 トキハわさだタウンから徒歩3分の距離にあります。
病院から徒歩5分。
ワンルームマンション・オートロック・冷暖房完備
自己負担金 10,000円
 - ユニフォーム 規定により貸与 クリーニング病院負担
 - 休暇 年間休日108日
就職2ヶ月後より有給休暇取得可能
(以降勤務年数に応じ最大40日まで)
冠婚葬祭休暇・育児休暇・介護休暇・勤務時間短縮制度があります
 - 選考方法 面接にて採用決定します
- ※病院見学は随時行っております。



【お問合せ】大分三愛メディカルセンター 事務部人事課まで ☎097-542-7487

NST活動について

～ニュートリションデイ (Nutrition day) の登録患者数 (3年間) が全国2位になりました!～

当院では、年1回世界同時に行われるニュートリションデイ (Nutrition Day:世界的規模で実施している患者栄養状態のアンケート調査であり、医療従事者だけでなく患者自身にも栄養管理の重要性を認識してもらうための取組み)にも2008年から毎年参加しており、入院患者さんの栄養評価を行っています。当院としても2008年から毎年参加しており、3年間での参加患者数が全国2位となりました!(全世界では16831例、日本では1900例登録されています。)

当院でのNST活動

当院ではNST委員会を設置しており、NSTの活動を始めて5年になります。設立当初の2005年より定期的な院内勉強会を開催し、これまで100回を超えています。最近では院内だけでなく、学会などでの定期的な発表や、院外の周辺地区でのNST普及に努めています。4月19日には、日本静脈経腸栄養学会評議員でもある、国立病院機構西別府病院 外科部長の唐原和秀先生をお招きし、「わさだ地区NST勉強会」を開催しました。

『栄養(=食べること)』は生命の根幹にかかわることであり、患者さんの栄養状態を改善して早期回復を目指すお手伝いを行なっています。今後も、NSTメンバーでよりよい栄養療法を推進していきたいと思っています。

※認定取得…日本静脈経腸栄養学会認定NST稼働施設 / 日本栄養療法推進協議会(JCNT)NST稼働施設 / 日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士(現在5名が取得)

NSTとは?

NST(nutrition support team:栄養サポートチーム)とは、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師・言語聴覚士などが、患者さん各々に最適な栄養療法を知識と技術をそれぞれ出し合い、栄養支援するチームです。

NSTの役割とは、患者様に栄養管理が必要かどうかの判定・適切な栄養管理が行われているかどうかのチェックをし、最もふさわしい栄養管理法を指導・提言することです。食事摂取量が少ない・食欲が低下しているなどの様々な問題を、メンバーで話し合いを行う中で解決していきます。そのことにより、栄養管理に伴う合併症の予防・早期発見・治療を行うことができ、早期退院や社会復帰を助け、生活の質を向上させます。実際に、NSTを設立している施設では、「回復が早くなり、入院期間が短縮できた。」「感染症の併発が減少した。」などの成果が報告されています。



第26回 日本静脈経腸栄養学会 (JSPEN) に参加し、発表を行いました!
(名古屋国際会議場にて)



わさだ地区NST勉強会の様子

毎年5月12日は「看護の日」

12日を含む週の日曜日から土曜日までが「看護週間」です。
近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日に制定されました。
メインテーマは「看護の心をみんなの心に」。
気軽に看護にふれていただける楽しい行事が全国各地で行われており、当院でも毎年行っています。



春の健康祭り

毎年恒例の『春の健康祭り』が、5月8日(日)に行われました。
『看護の日』にちなみ、地域の皆様に健康への意識を高めて病気を予防してもらうのを目的に、毎年母の日に行っており、今年で17回目となりました。

高木副院長・藤井先生をはじめ、様々な職種のスタッフ総勢50名以上の参加がありました。各種相談(医療・栄養・介護など)・各種測定(血圧・血糖・身長体重など)・心臓マッサージやAED体験・ちびっこ薬剤師体験などのブースを設け、全コーナーの延べ合計は約500名に達するなど、多くの方に訪れていただきました。「気軽に健康チェックや相談が出来るのがよい」、「子供が薬を作れて嬉しそうだった」などという意見も多く聞かれ、「毎年楽しみにしています」と言って下さる常連さんもおられるなど、今年も大変好評でした。今年もたくさんの方々のご参加ありがとうございました。

毎年恒例のイベントとして、来年も母の日に開催を予定しています。



ふれあい看護体験

看護協会では、看護週間に「ふれあい看護体験」を実施しています。「ふれあい看護体験」とは、市民のために保健医療福祉施設が、見学や簡単な看護体験、関係者との交流などを行うものです。参加者は、高校生や主婦・会社員・定年後の方など幅広い層にわたっています。

大分三愛メディカルセンターでも、毎年学生の受け入れを行っています。

今年度は、5月11日に大分県立雄城台高校3年生3名が「ふれあい看護体験」に参加されました。3名とも将来は看護師になることを希望しており、手浴・足浴・清拭・配膳下膳・食事介助・体温測定・血圧測定・散歩など楽しく体験していました。



体験後の感想では、「理学療法士の方の話も聞けたし、将来のことも話してくれたので、とても参考になった」、「手術室を初めて見たので、いろんな器具に驚いた」、「シーツを交換するとき患者さんを横に向けたり、服を着替えるときなるべく痛くないようにしている動作がすごいと思った」、「あらためて看護師という仕事について知ることができた。指導してくれた看護師の方々も親切で丁寧な方たちばかりで、本当に感謝でいっぱいです」などの感想をいただきました。

今回、私たちも高校生の若いパワーをもらうことができ、初心を忘れずますます頑張っていきたいと思っています。

看護部の新人教育制度のご紹介

当院では、プリセプター制度を導入しています。

プリセプター制度とは、一人の新人看護師(プリセプティ)に一人の先輩看護師(プリセプター)がつき、1年間を通じてマンツーマンで臨床実践を指導する方法です。新人看護師のリアリティショックやカルチャーストックを緩和し、看護実践能力の獲得や自立を支援する教育体制として導入しています。

看護師 渡邊 美由紀

平成20年4月入社
現在配属 救急外来

私は、明豊高等学校看護専攻科を卒業後、当院へ入職しました。

1年目は、外科病棟へ配属となり看護の基礎を学び、その後HCUへ異動しました。HCUでは、危機的状況に陥った患者やその家族への看護を行なっています。どんどん回復していく時には喜びや楽しさも感じますが、急変し死を受け止めなければならないこともあり、おこなったケアへの葛藤もありました。現在は4年目となり、救急外来での看護の重要性を学んでいます。

始めは、学校で学んだことと現場のギャップに戸惑いもありましたが、今ではやりがいや楽しさを日々感じ、充実した毎日を送っています。当院へ入職し、私の周りには信頼できるスタッフや各部署で出会った心強い仲間がいます。それが私にとって支えであり、パワーの源となっています。

これからも、自分の理想とする看護ができるよう、頑張りたいと思います。



看護師 市川 菜奈美

平成21年4月入社
現在配属 6階病棟
(主に内科・形成外科)

私は、当院に入職して3年目になります。初めは新卒ということもあり、実際の医療現場で働くことに不安を抱えていました。やはり実際の医療現場は実習とは異なり、患者様の命と向き合う大変な仕事だと感じました。理想と現実のギャップに挫折しそうになったこともありましたが、やさしい先輩看護師からのご指導やアドバイスのおかげで、今では充実した毎日をご過ごすことができています。これからも患者様との関わりを通し、多くのことを学びたいと思います。



看護師 山家 理沙

平成22年4月入社
現在配属 4階病棟・HCU

この一年間はあっという間でした。最初は、学校を卒業したばかりで先輩看護師の方に話しかけるのも恐く、気疲れする毎日でした。プリセプターに日々助言をもらいながら勤務をしていましたが、仕事を覚えることに必死で気持ちがいっぱいになり、感情を表に出してしまったり、患者様のケアに集中できないことがありました。すると、プリセプターが「自分ひとりで溜め込まないで誰かに話すんで。いっぱいになったんやな、わかるよ。」と、気持ちを汲み取ってくださり、気持ちが楽になった気がしました。それからは、自分の出来ることから積極的に手を出したり、回診や処置には一緒について見せてもらったりと、少しずつですが覚えていくことが出来ました。

一年がたち、やっと仕事にも慣れました。HCUへ異動になり、急性期の看護を学ぶにあたり、責任もますます大きくなってきます。2年目に入りプリセプター期間は終了となりますが、初心を忘れず先輩看護師や先生方に助言をいただきながら、一人一人の患者様との関わりを通して、病態や処置など根拠を持って看護できる様に努力していきたいと思っています。



H23年度新人研修プログラム年間予定・院内行事

月日	内容	月日	内容
4月	入社式 オリエンテーション	10月	院内研究発表会
5月	春の健康祭り	11月	リレーフォーライフ
6月	医療安全(輸液管理と実際)	11月	リフレッシュ研修 (昨年度: 絵手紙作り)
7月	3ヶ月の振り返り	12月	8ヶ月の振り返り
8月	人工呼吸器・人工呼吸器 装着中患者の看護	12月	クリスマス会
9月	医療安全(与薬)	1月	感染対策
		2月	症例発表会
		3月	1年間の振り返り

※左記は一部であり、その他にも様々な研修を毎月行なっています。

※なお、2年目以降もプログラムに沿った研修を引き続き行なっています。

4月: 目標設定/5月: リフレッシュ研修(昨年度: 陶芸教室)/6月: メンバースHIP/10月: ACLS/12~3月: プリセプター準備教育など



連携医療機関のご紹介

当院では、急性期医療を担う病院として質の高い医療を提供するために、地域の医療機関(かかりつけ医)と密接に連携する、地域医療連携を積極的に行なっています。

石松 内科

昭和56年に開業し、生活習慣病を中心にホームドクターとして従事しています。

- 【名称】 石松内科 【住所】 大分市ふじが丘北区2B-1(アテオ光吉店ウラ)
- 【電話】 097-569-3232 【診療科】 内科、呼吸器科、循環器科、消化器科、胃腸科
- 【受付時間】 9:00~12:30 / 14:00~18:00 ※木曜日は午前中のみ(9:00~12:30まで)
- 【休日】 日曜日・祝日
- 【専門】 糖尿病・肥満症などの生活習慣病
- 【趣味】 菜園いじり、読書、等々
- 【特技】 釣り(年に数回しか行けないそうで…)
- 【コメント】 食事療法、肥満、糖尿病の事なら何でも相談して下さい。



院長
石松 信彦先生



とても気さくな先生で、患者様との会話を非常に大事にされていて、会話の中から様々な事が見えてくるのだそうです。一見クールに見えますが、医者として地域医療の為に尽力されている熱い先生だと言う事が、会話の中からヒシヒシと伝わってきました。

外来担当医一覧 大分三愛メディカルセンター

【平成23年6月1日現在】

		月	火	水	木	金	土	日
外科 心臓血管外科 消化器外科 呼吸器外科 大腸・肛門科 乳腺外科	午前	森 (心臓血管外科)	半澤 (外科)	森 (外科・心臓血管外科)	新谷(消化器・外科) 村上(外科)	森 (外科・心臓血管外科)	藤原 (消化器・外科)	救 急 対 応
	午前	新谷 (消化器・外科)	新谷/和田 (消化器・外科)	藤原 (消化器・外科)			村上 (外科)	
	午前	三島(第1.3) 福永(第2.4) (乳腺外科)				岩熊 (乳腺外科)		
内科 消化器内科 呼吸器内科 糖尿病内科 循環器内科 神経内科	午前		那須 (消化器)	神徳 (循環器)	那須 (腹部漢方外来)	那須 (消化器)	篠崎 (循環器)	
	午前	藤井 (禁煙外来)	藤井 (呼吸器)	藤井 (呼吸器)	横山 (呼吸器)		藤井 (呼吸器)	
	午前	金子 (一般)	金子 (一般)	金子 (一般)	金子 (一般)	金子 (一般)	金子 (一般)	
	午前		後藤 (循環器)	門田 (せき・呼吸器外来)	植松 (糖尿病外来)	麻生 (神経内科)		
整形外科	午前	内田	内田	猿渡	猿渡	内田	猿渡	
	午前	高木	猿渡	高木	内田	高木	高木 (第1土曜日不在)	
形成外科	午前	浜田	浜田	浜田	浜田	浜田	浜田	
泌尿器科	午前	中野	野村	中野	中野	野村	中野	
眼科	午前			調枝				
リハビリテーション科	午前	半澤	則行 (リハビリ・神経内科)	則行 (リハビリ・神経内科)	則行 (リハビリ・神経内科)	(整形外科)	則行 (リハビリ・神経内科)	
特殊外来								
外科	午後		新谷 (痔・肛門外来)		小崎/川野 (心臓血管外科)	岩熊 (乳腺外科)		
内科	午後	鳥越 (循環器・一般内科外来) 岡本 (糖尿病外来)	後藤 (循環器・一般内科外来)	則行 (めまい・頭痛外来)		麻生 (神経内科) 藤井 (喘息・じん肺・ アスベスト外来)		
泌尿器科	午後		野村 (腎不全・透析外来)		野村 (頻尿・尿失禁外来)			

○専門外来 受付時間 8時15分～12時00分 診察時間 9時00分～12時30分

 ○特殊外来 受付時間 13時30分～17時00分 診察時間 14時00分～17時30分

 ○土曜日 午後休診

※救急時間外診療は24時間対応いたします。

施設認定

日本医療機能評価機構認定病院
 二次救急指定病院
 大分DMAT 指定病院
 厚生労働省指定 臨床研修病院(協力型)
 日本救急医学会 救急科専門医指定施設
 日本外科学会 外科専門医制度関連施設
 日本消化器内視鏡学会 指導施設
 日本整形外科学会 専門医研修施設
 日本泌尿器科学会 専門医教育施設
 日本透析医学会 専門医教育関連施設
 日本形成外科学会 教育関連施設
 日本静脈経腸栄養学会認定 NST稼働施設
 日本栄養療法推進協議会(JCNT)NST稼働施設

保険医療機関・公費負担医療機関 (費用負担に係る項目)

労災保険指定医療機関
 指定自立支援医療機関(更正医療)
 身体障害者福祉法指定医配置医療機関
 生活保護法指定医療機関
 結核指定医療機関
 原子爆弾被害者医療指定医療機関
 原子爆弾被害者一般疾病医療取扱医療機関
 特定疾患治療研究事業委託医療機関
 小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関
 DPC 対象病院

社会医療法人三愛会
大分三愛メディカルセンター

〒870-1151 大分市大字市1213 番地
 TEL(097)541-1311 FAX(097)541-5218
 URL <http://www.san-ai-group.org/>